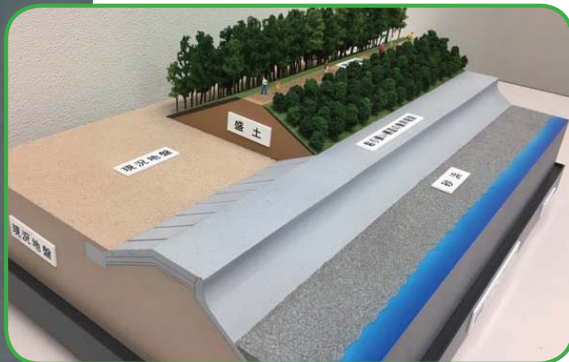
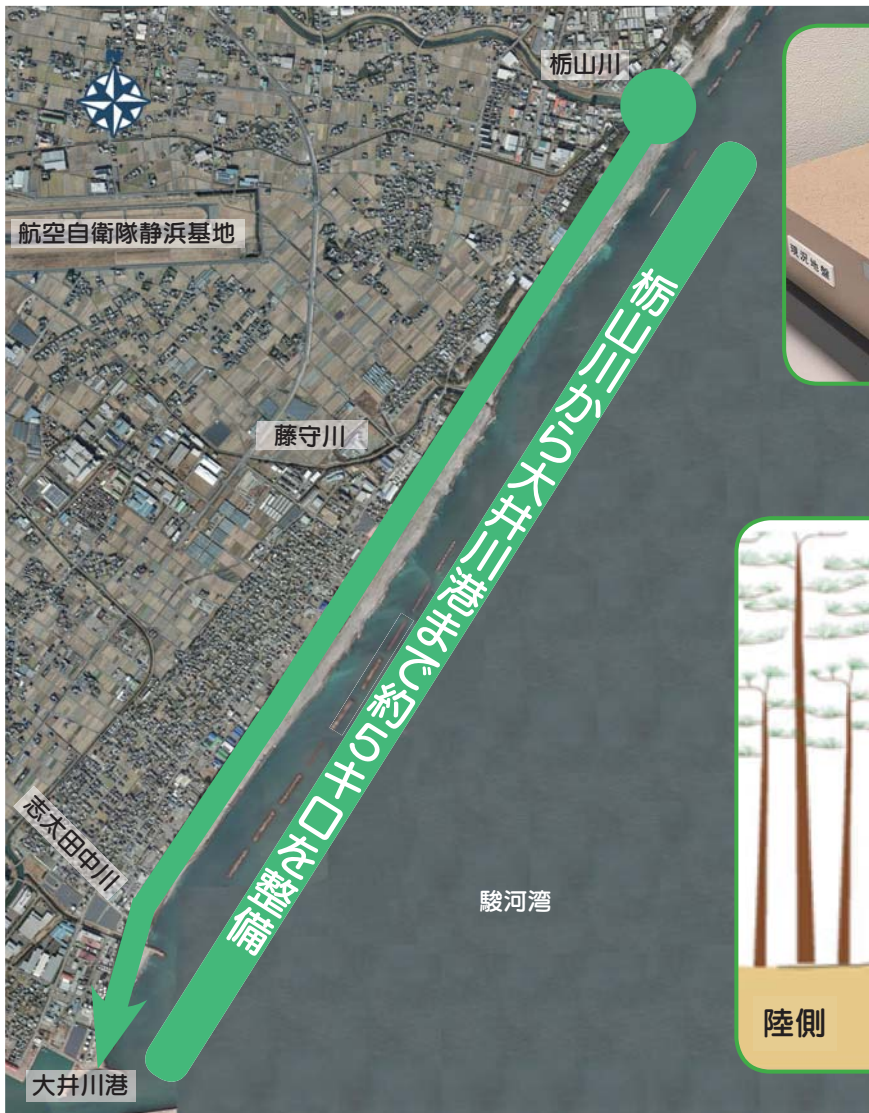


# 海岸への対策 潮風グリーンウォーク

平成30年版

「高潮」や「最大クラスの津波」から被害を軽減させるため、栃山川から大井川港にかけて海岸堤防の陸側を盛土し、植栽を行う「潮風グリーンウォーク」の整備を進めています。  
 問合せ先 河川課 ☎ 626-1118

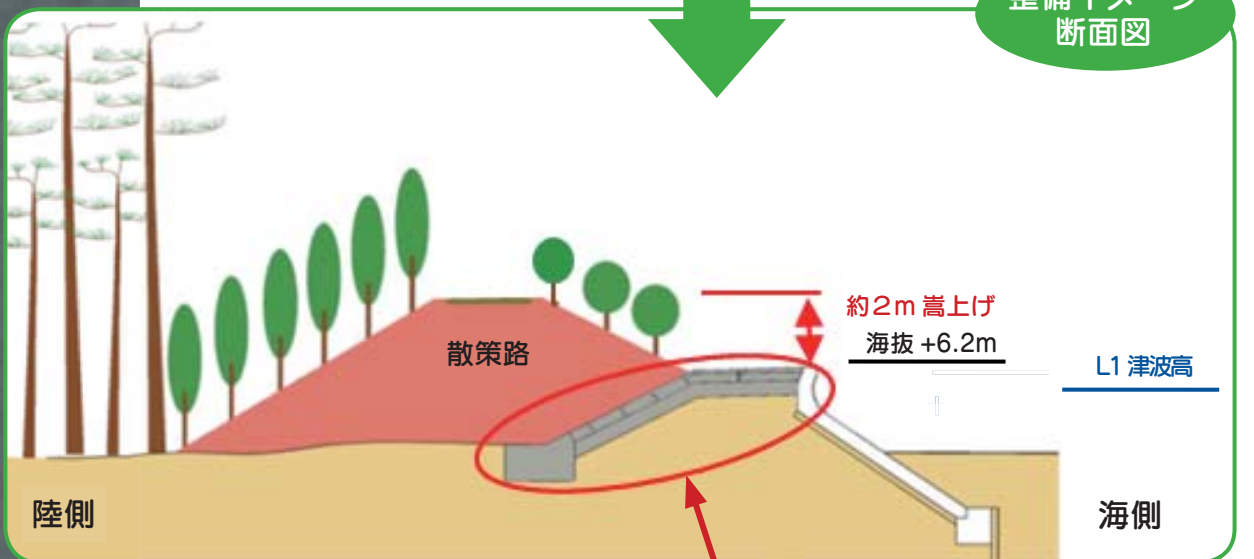


▲潮風グリーンウォークの模型



▲駿河海岸 焼津市一色地先

整備イメージ  
断面図



堤防を粘り強い構造に改良（国）

## 工事の進捗状況

国土交通省の「粘り強い海岸堤防」の整備により、堤防のコンクリートを厚く改良する工事が行われ、60㍍の整備が完了しました。（写真1）堤防のコンクリートの厚さは、10㍍程度と薄かったものが、厚み50㍍のコンクリートに強化されました。その後、堤防の背後20㍍区間において、市の工事により、盛土と植樹を行いました。トベラ、マサキ、シャリンバイの3種類、計840本を植樹しました。（写真2）  
 平成29年12月現在



写真1



写真2

## 潮風グリーンウォーク苗木育成

～潮風グリーンウォークに植樹するため、苗木の育成を行っています～

**種子採取** 海岸沿いに自生している、潮風に強い種を採取します。



ディスカバリーパーク付近



大井川港付近

**育苗** 田尻地内の育苗施設で毎日水遣りし、苗木を育てています。



トベラ  
シャリンバイ  
ウバメガシ  
ヒメユズリハ  
ツバキ etc

## 経緯

国の直轄海岸である駿河海岸において、最大クラスの地震・津波に対する被害の軽減を図るため、国、県、関係市町において、「駿河海岸整備検討会」を設置し、海岸保全のあり方について検討してきました。

焼津市の直轄海岸の堤防高は、二級河川栃山川を境に北側は海拔8・2m、南側は海抜6・2mに分かれていることから、南側区間についても、盛土により北側の堤防と同程度の高さに整備することで、最大クラスの地震・津波に対する減災対策だけでなく、高潮などによる越波対策に繋げたいと考えています。

## 整備効果

粘り強い構造に改良した海岸堤防の陸側に盛土、植樹を行い、天端を散策路とするも

のです。レベル1の津波は既設の堤防で防御できませんが、万が一堤防を越える高さの津波が襲来した場合でも、樹林が津波の勢いを弱めて内陸への到達時間を遅らせ、住民の避難時間を確保することも、浸水面積を減らす効果があります。